

2010下野の国大会(144MHz) での私の判断と行動

2010年4月18日(日)
於 栃木県黒羽 Springs

安島 巧



黒羽 B1



18

下野の国ARDF競技大会

主要道路	河川	不明瞭な小径	住宅地・建物	大・小岩	鉄塔・人工物	フェンス	岩盤・土崖	耕作地	開けた土地	荒れた開けた土地	川	湿地帯	沼・池	立ち入り禁止
——	——	——	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

・谷田部

OCAD 作図 OCAD9.00 License No. 5354 ARDF栃木

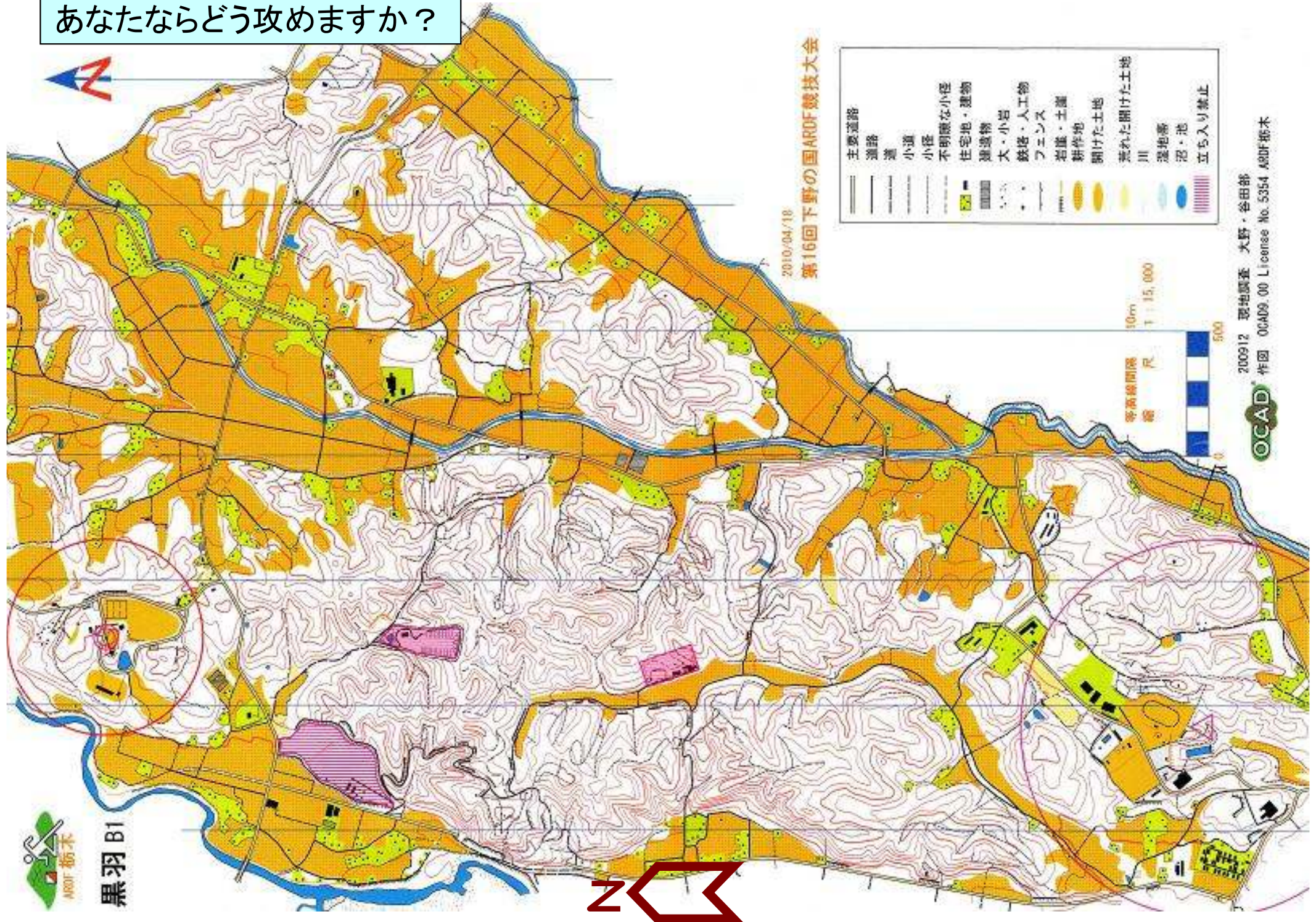
初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

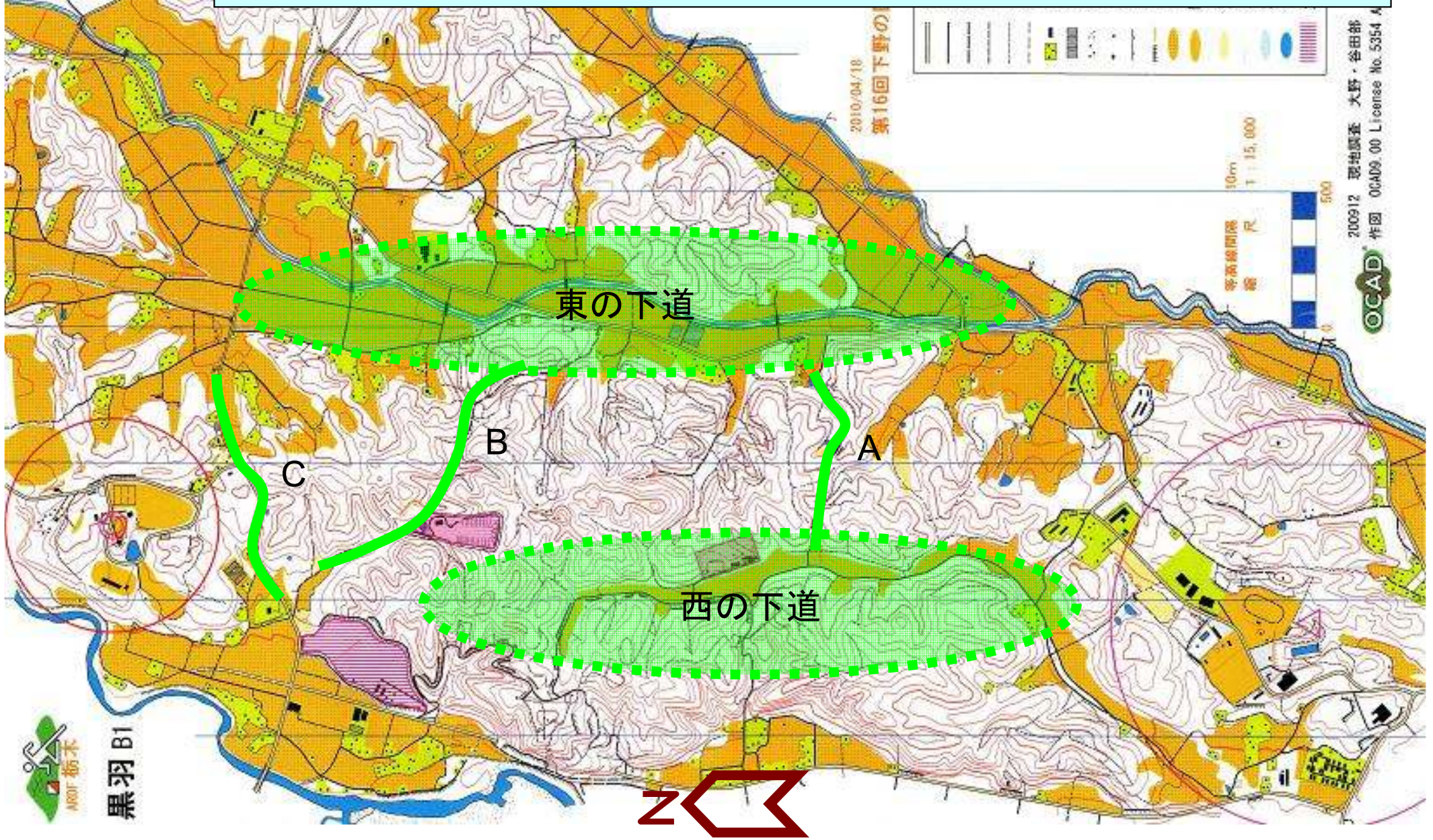
ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



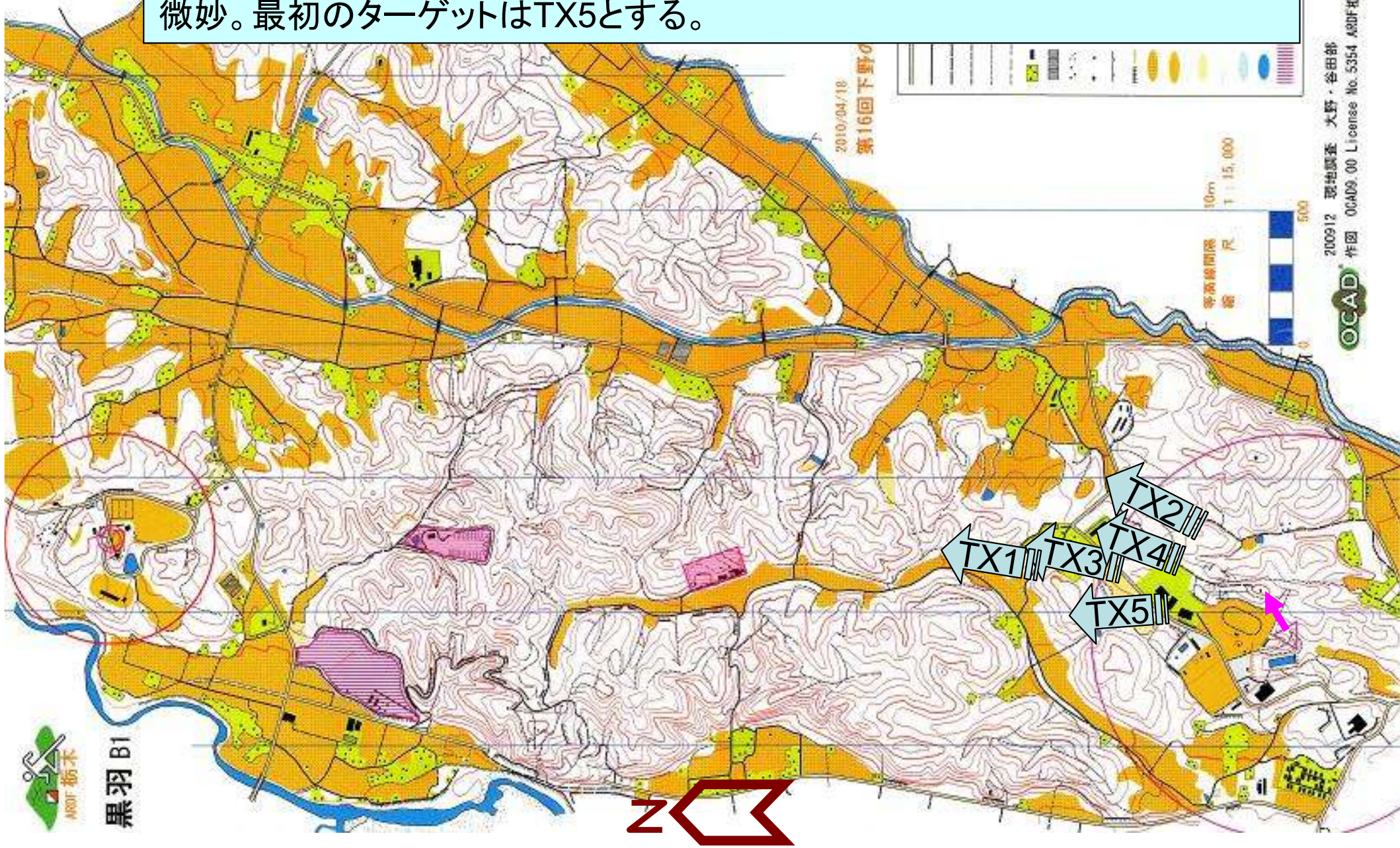
①スタート前の地図読み

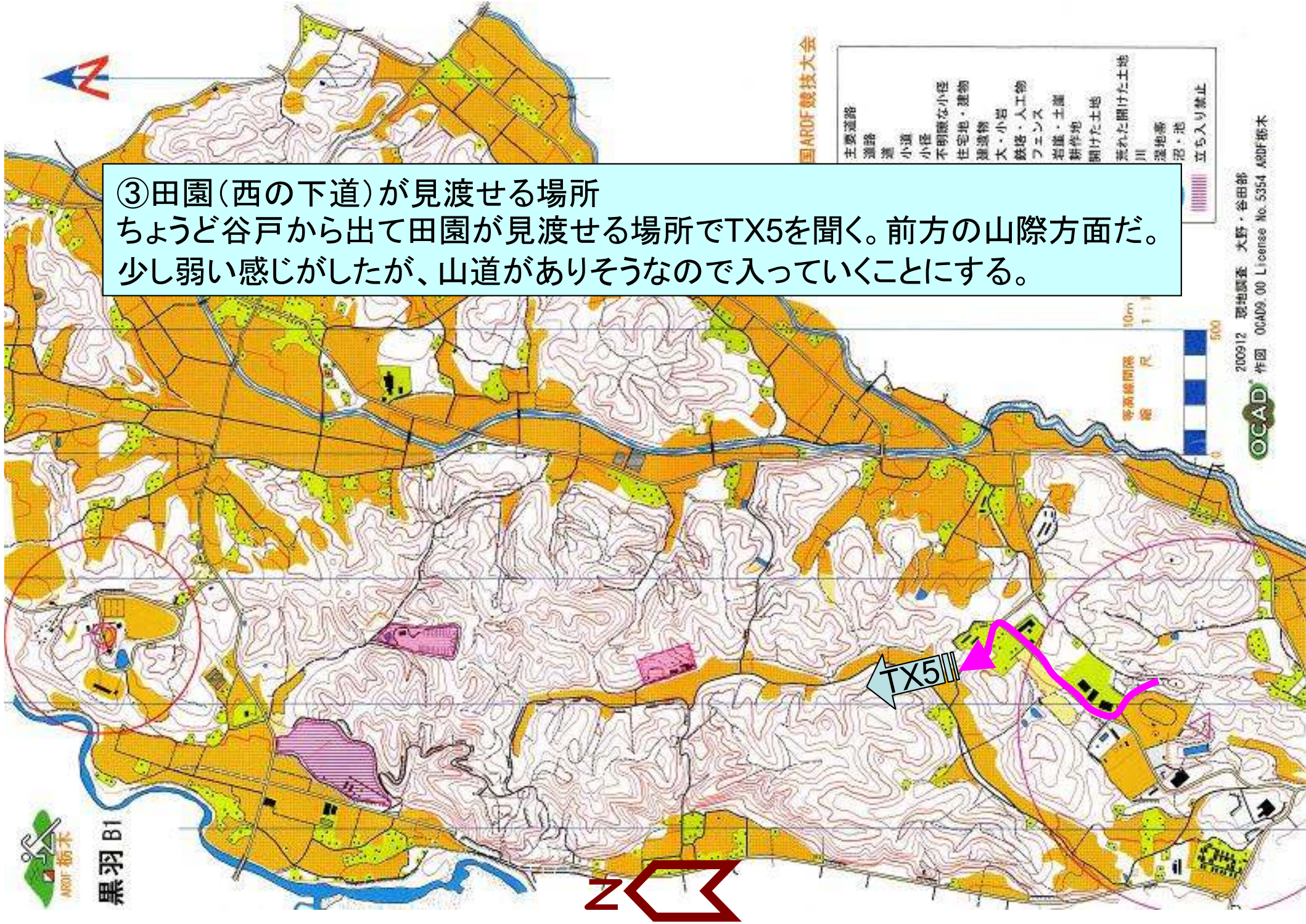
ゴールまでの距離が結構あるので、一筆書きコースと推定。
西の下道、東の下道間はAの切通しくらいしか連絡通路がなく行き来が難しい
ので、TXがどちらにあるかの判定が重要



②探索開始地点

とにかく高いところに登る。思ったよりきつい感じがする。歳か？
TX2は明らかに東の下道側、TX5は明らかに西の下道側で近い。他のTXは微妙。最初のターゲットはTX5とする。





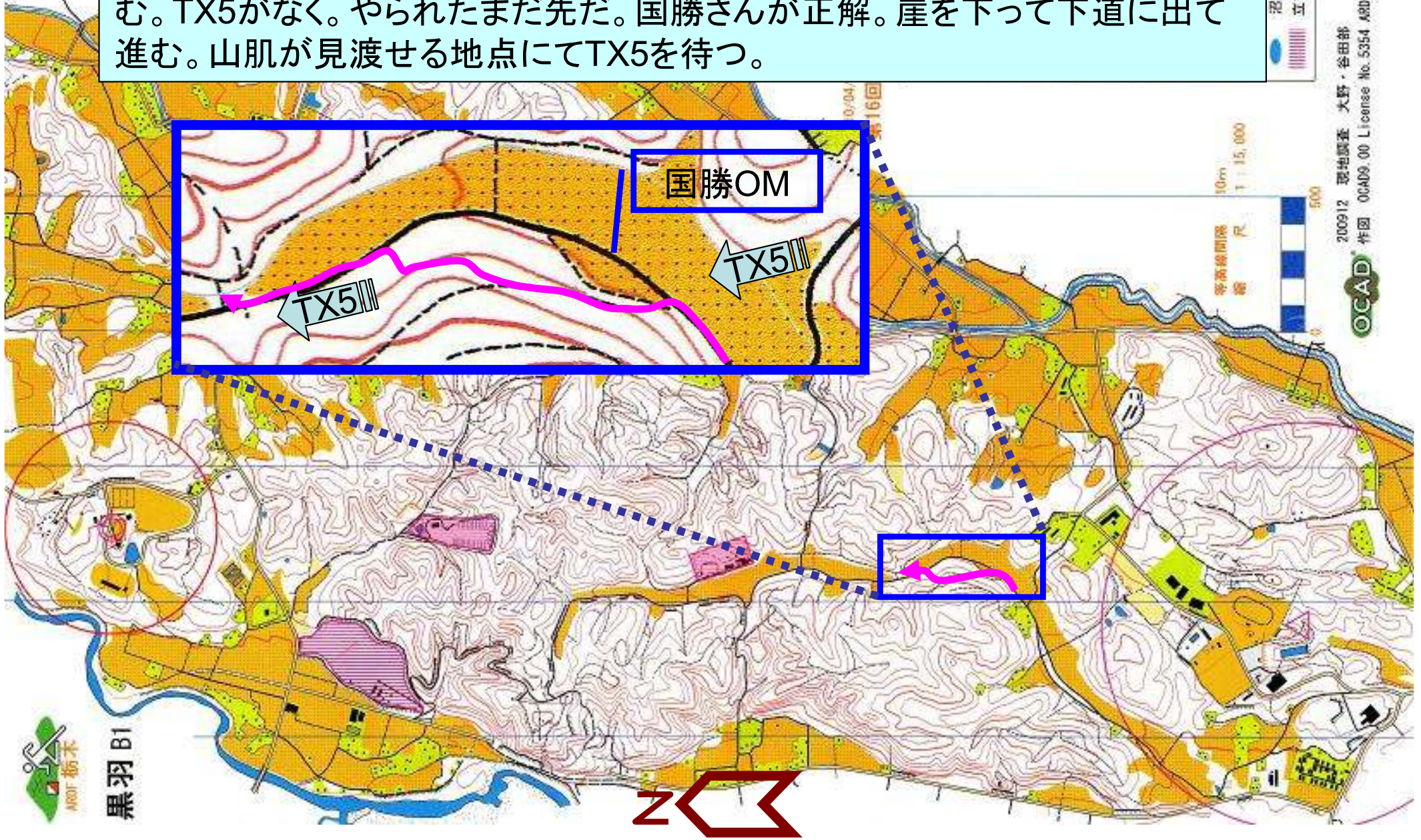
③田園(西の下道)が見渡せる場所
 ちょうど谷戸から出て田園が見渡せる場所でTX5を聞く。前方の山際方面だ。
 少し弱い感じがしたが、山道がありそうなので入っていくことにする。

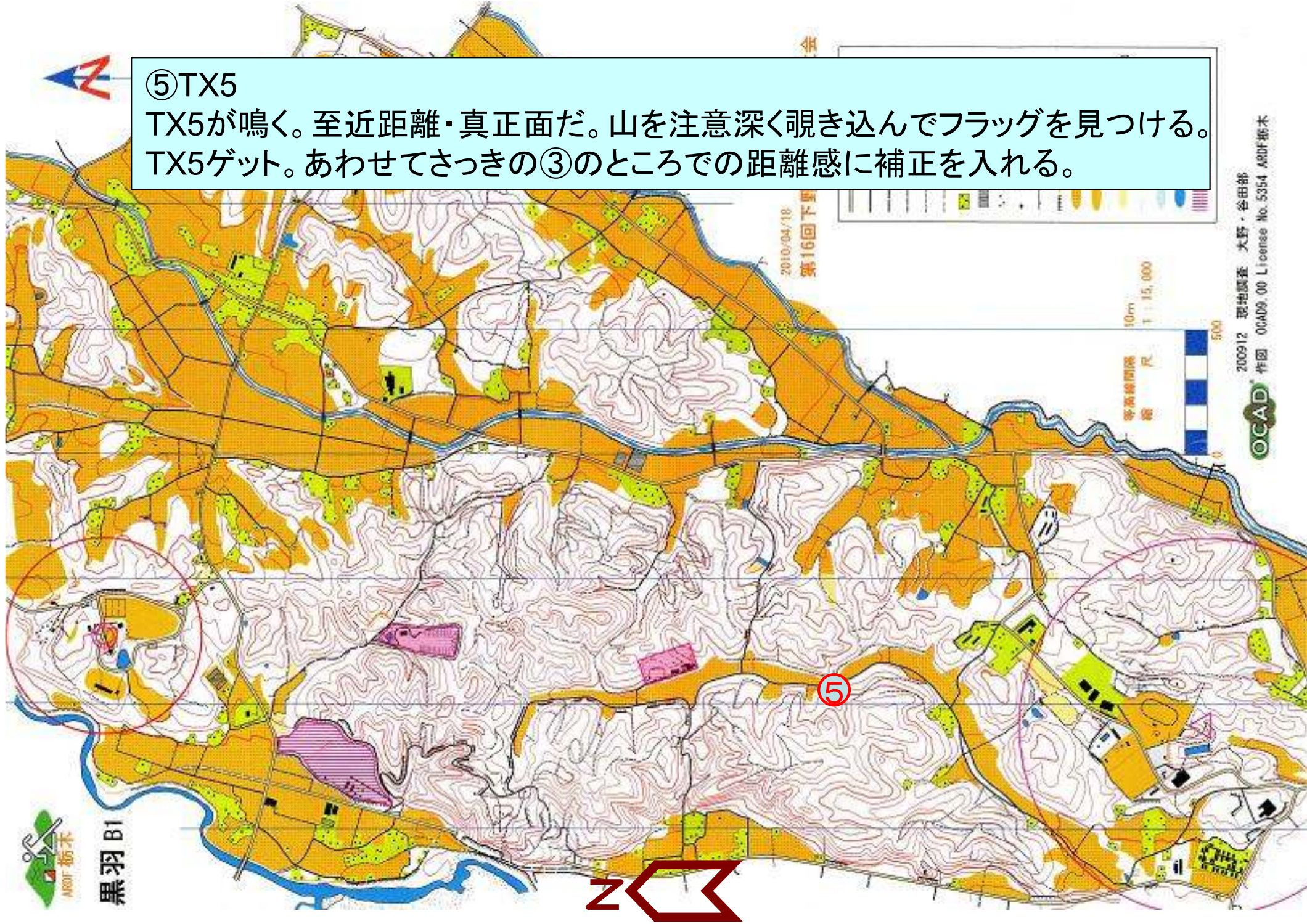
- 国ARDF競技大会
- 主要道路
 - 道路
 - 小道
 - 小径
 - 不明瞭な小径
 - 住宅地・建物
 - 建造物
 - 大・小岩
 - 鉄塔・人工物
 - フェンス
 - 岩窟・土窟
 - 耕作地
 - 開けた土地
 - 荒れた開けた土地
 - 川
 - 湿地帯
 - 沼・池
 - 立ち入り禁止



④国勝さんに抜かれる

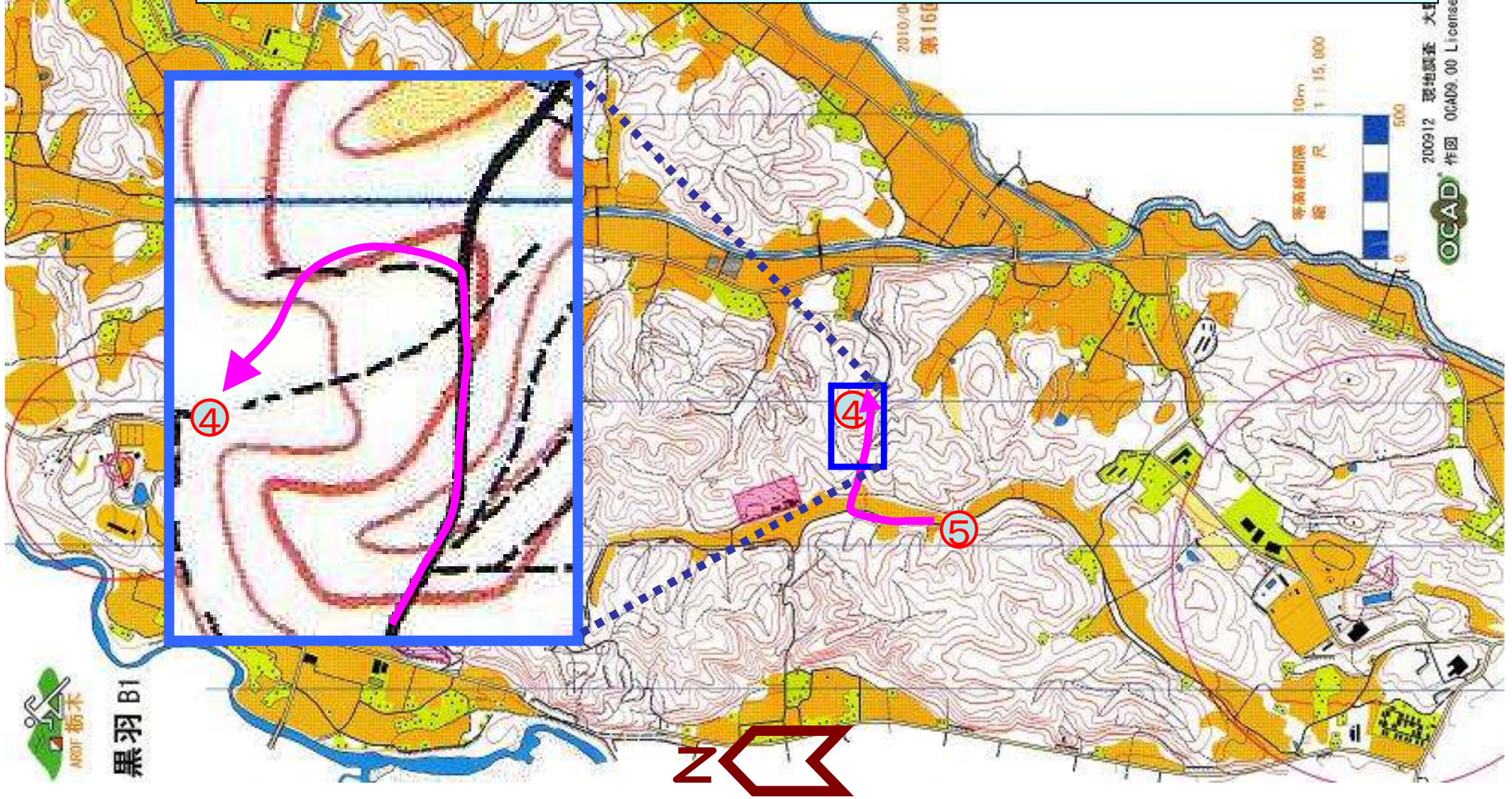
そのまま道を進む国勝さんを横目で見ながら山道へと入る。山をかすめる方向なので、奥ではない。従って余り山に登らないようにして下道と平行して進む。TX5がなく。やられたまだ先だ。国勝さんが正解。崖を下って下道に出て進む。山肌が見渡せる地点にてTX5を待つ。





⑥TX4

TX4が切通し方向なので、切通しを進む。反射があるので、難しい場所だ。TX4が鳴く。左の山方向だ。山に入る。上のほうで人が動くのが見える。どうやら道がありそうなスピードだ。結構後ろからも人が入ってくる。進んでいくとフラッグが見えた。TX4ゲット。



道が繋がっていない

競技者の列

TX3

TX3

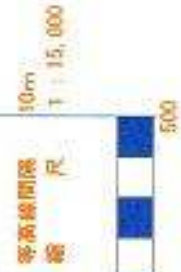
④

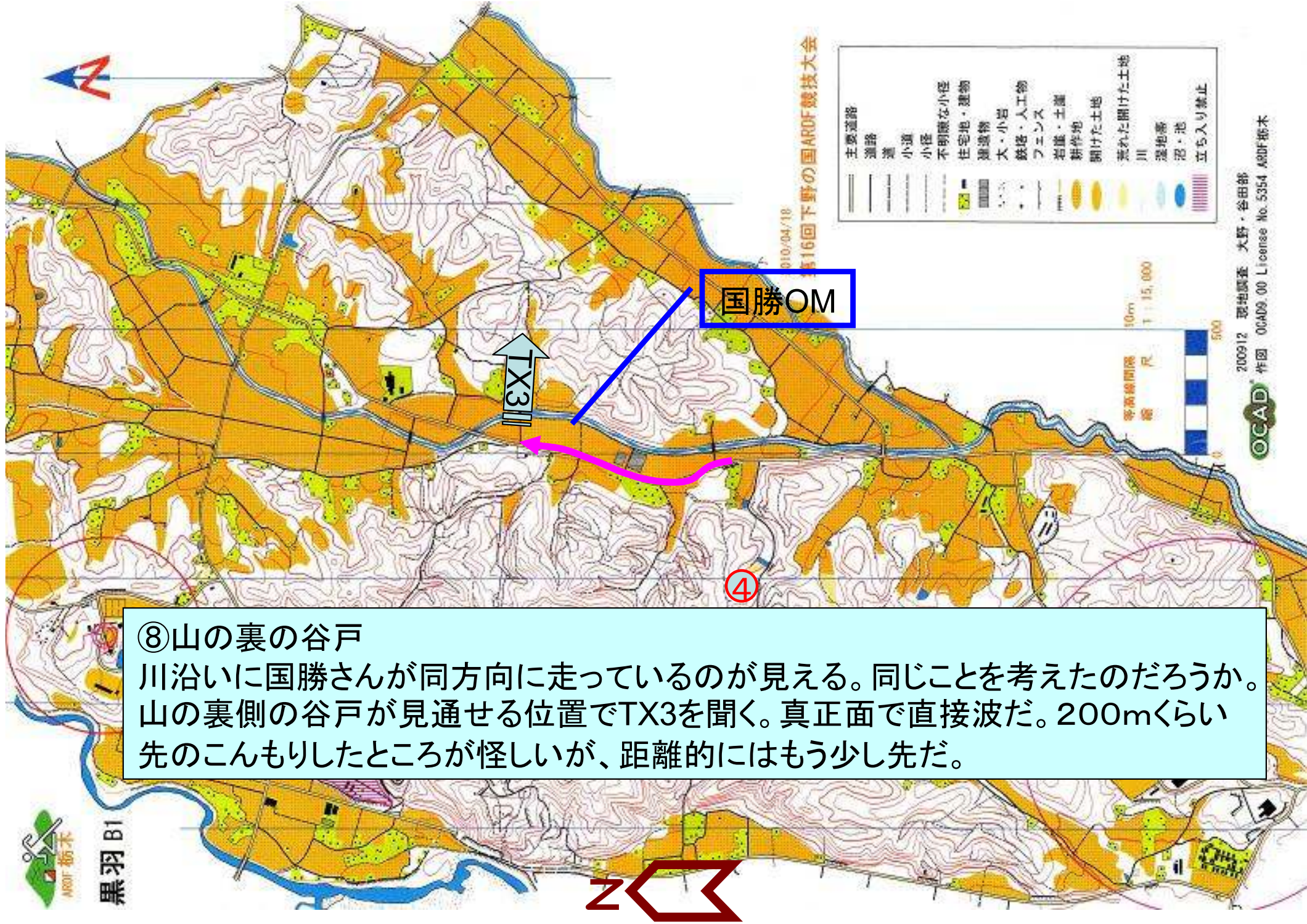
⑦列を成す山

東の下道に出たところでTX3は山頂方向。しかし少し弱い。先ほどの③での距離感からすると、山の向こう側か、山の中の谷だ。地図を見るとそれっぽい谷もなく、山の向こう側へは、地図上の道は繋がっていない。10人くらいの競技者が列を成して山に入っていくのが見える。これで決断した。天邪鬼の私は山を回ることにした。

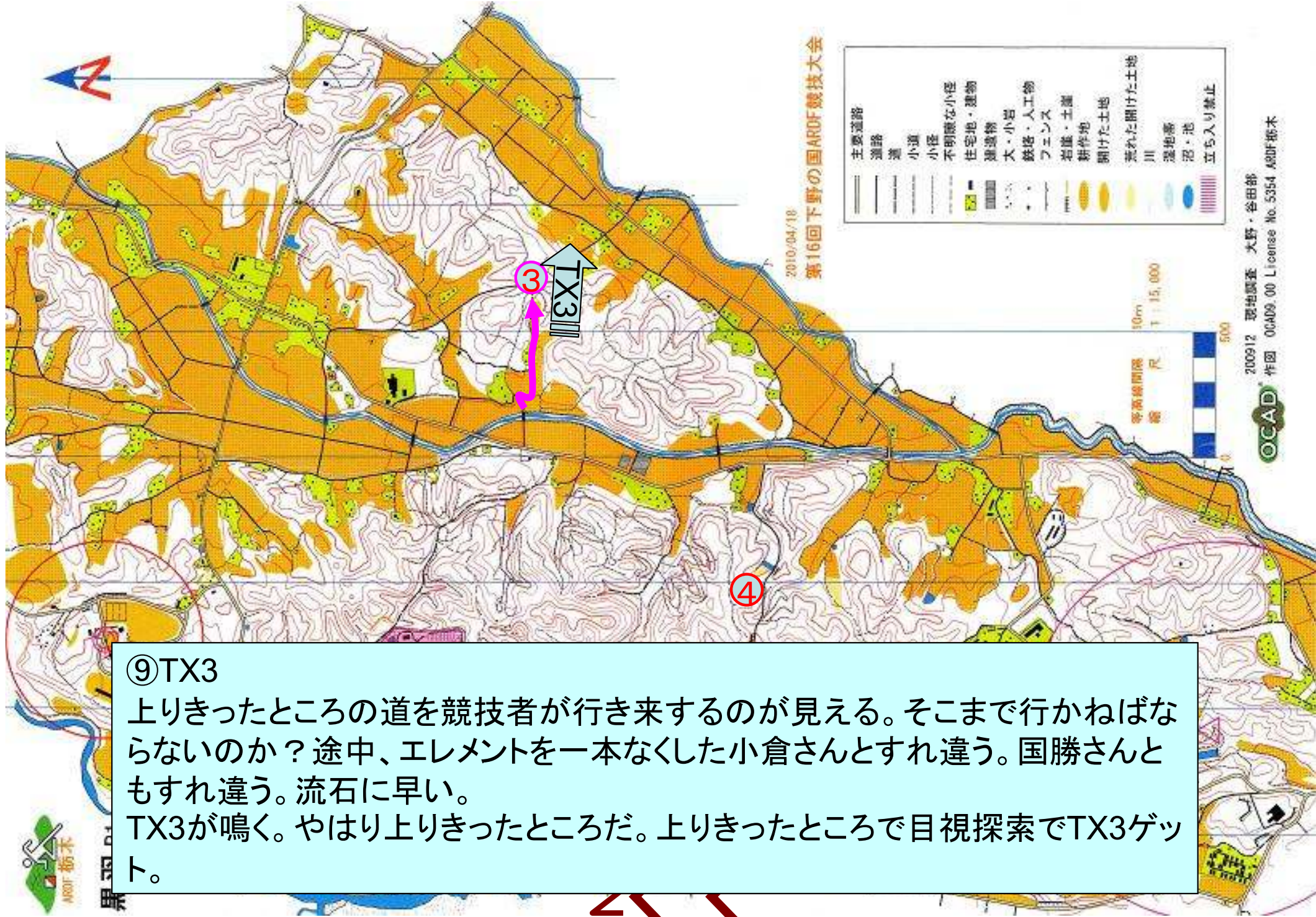
主要道路	普通道	小径	不明瞭な小径	住宅地・建物	建造物	大・小岩	鉄塔・人工物	フェンス	岩盤・土崖	耕作地	開けた土地	荒れた開けた土地	川	湿地帯	沼・池	立ち入り禁止
——	——	——	——	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

2010/04/18
第16回下野の国ARDF競技大会





⑧山の裏の谷戸
 川沿いに国勝さんが同方向に走っているのが見える。同じことを考えたのだろうか。
 山の裏側の谷戸が見通せる位置でTX3を聞く。真正面で直接波だ。200mくらい
 先のこんもりしたところが怪しいが、距離的にはもう少し先だ。



⑨TX3

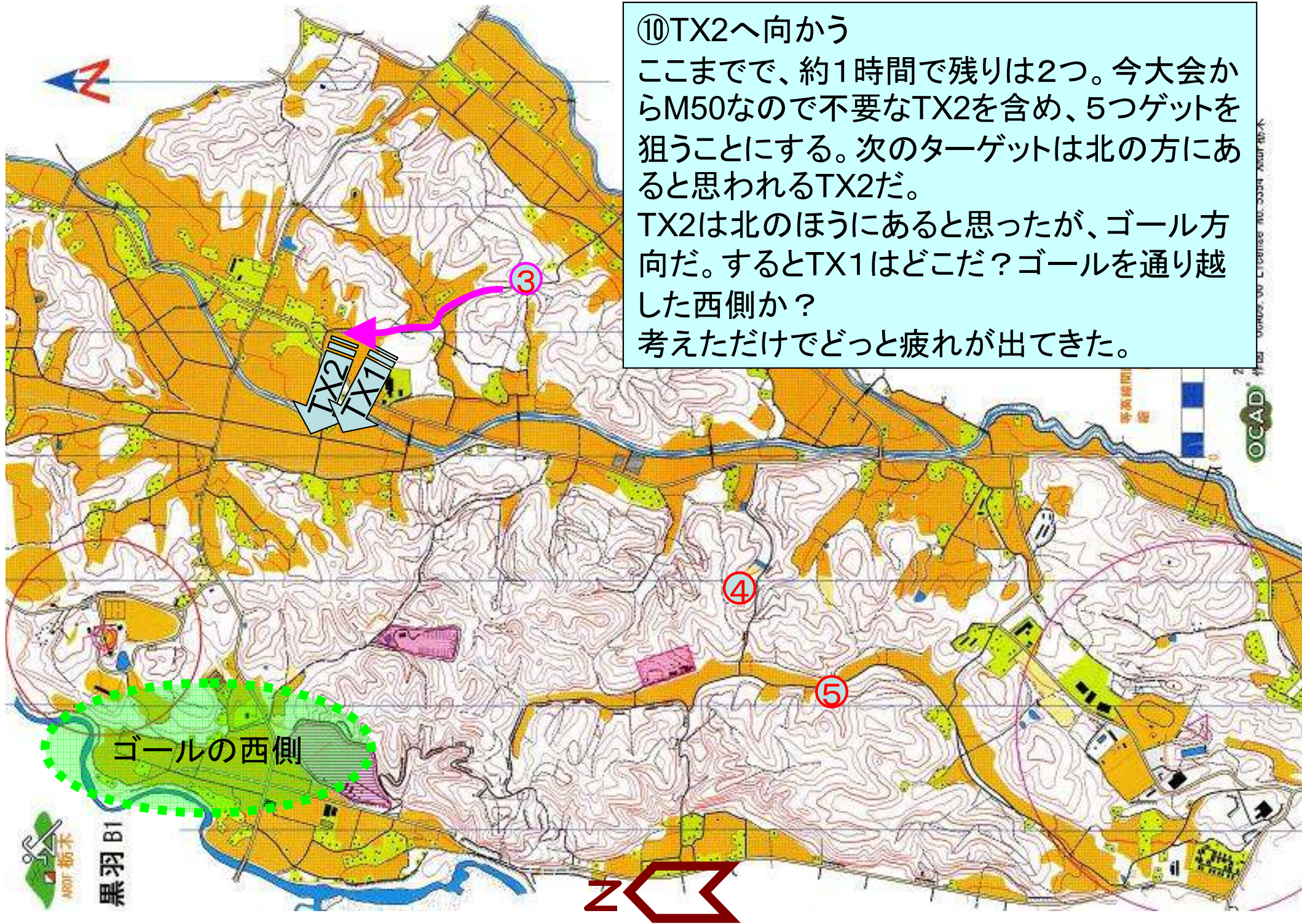
上りきったところの道を競技者が行き来するのが見える。そこまで行かねばならないのか？途中、エレメントを一本なくした小倉さんとすれ違う。国勝さんともすれ違う。流石に早い。TX3が鳴く。やはり上りきったところだ。上りきったところで目視探索でTX3ゲット。

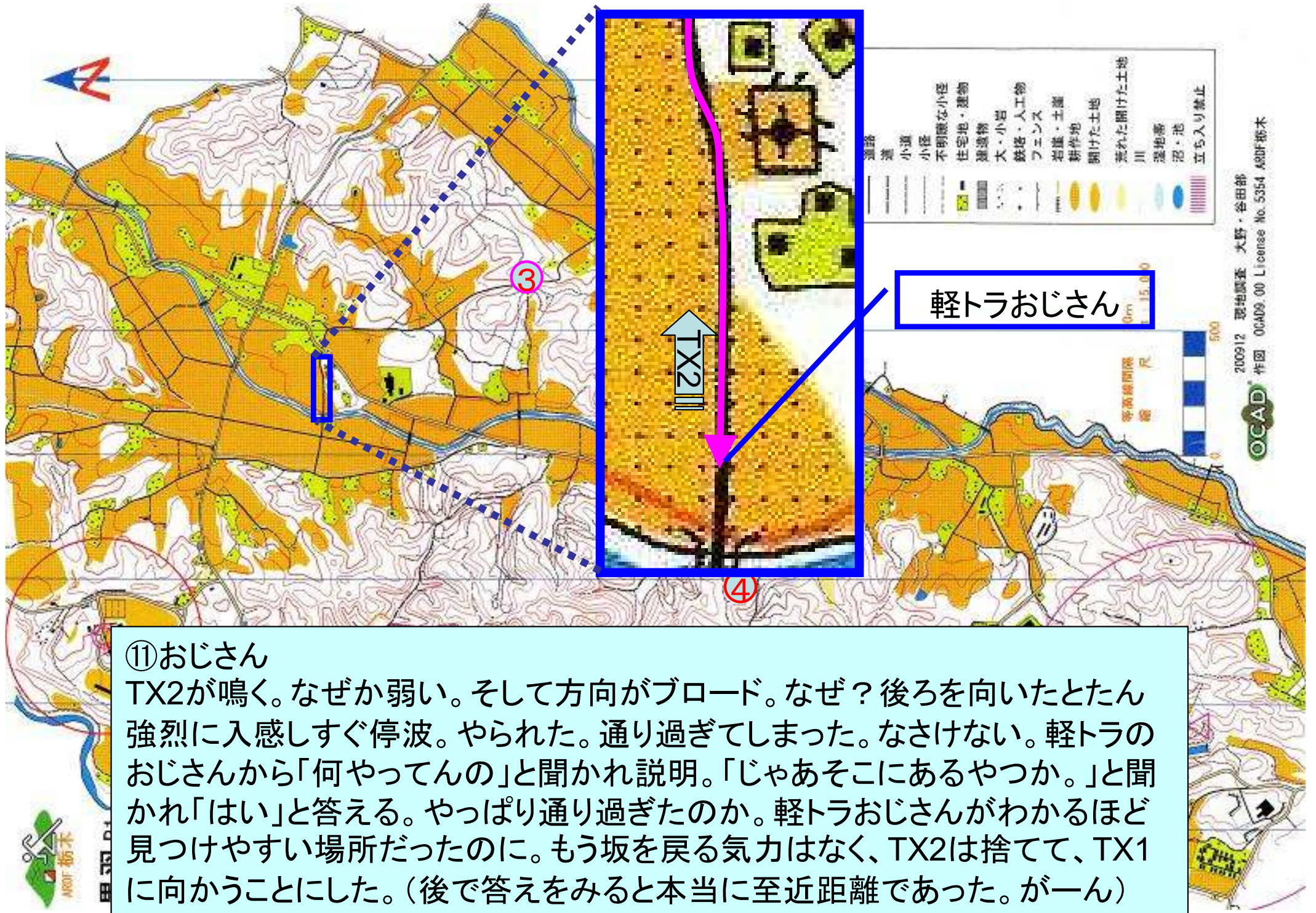
⑩TX2へ向かう

ここまでで、約1時間で残りは2つ。今大会からM50なので不要なTX2を含め、5つゲットを狙うことにする。次のターゲットは北の方にあると思われるTX2だ。

TX2は北のほうにあると思ったが、ゴール方向だ。するとTX1はどこだ？ゴールを乗り越えた西側か？

考えただけでどっと疲れが出てきた。



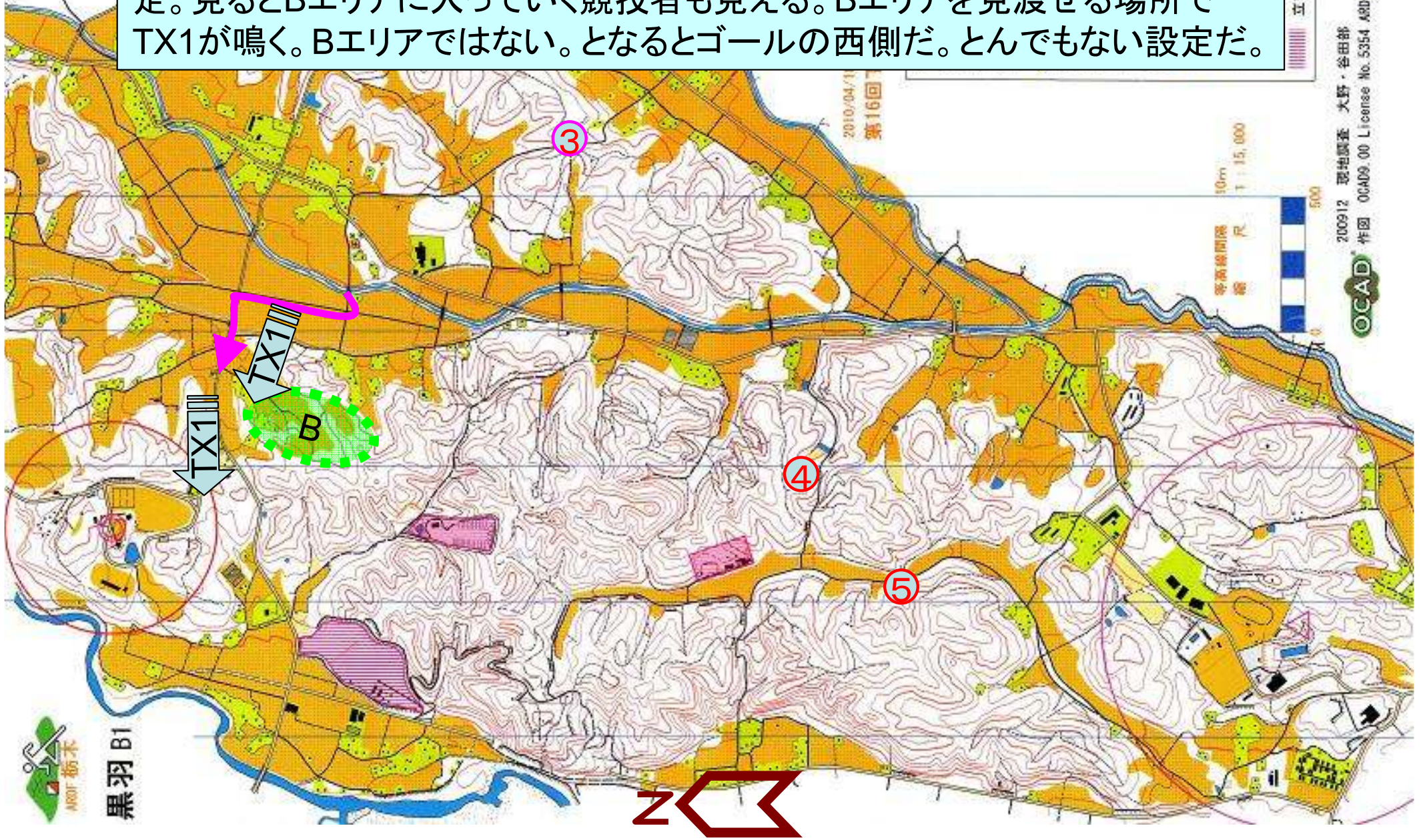


⑪おじさん

TX2が鳴く。なぜか弱い。そして方向がブロード。なぜ？後ろを向いたとたん強烈に入感しすぐ停波。やられた。通り過ぎてしまった。なさない。軽トラのおじさんから「何やってんの」と聞かれ説明。「じゃあそこにあるやつか。」と聞かれ「はい」と答える。やっぱり通り過ぎたのか。軽トラおじさんがわかるほど見つけやすい場所だったのに。もう坂を戻る気力はなく、TX2は捨てて、TX1に向かうことにした。(後で答えをみると本当に至近距離であった。がーん)

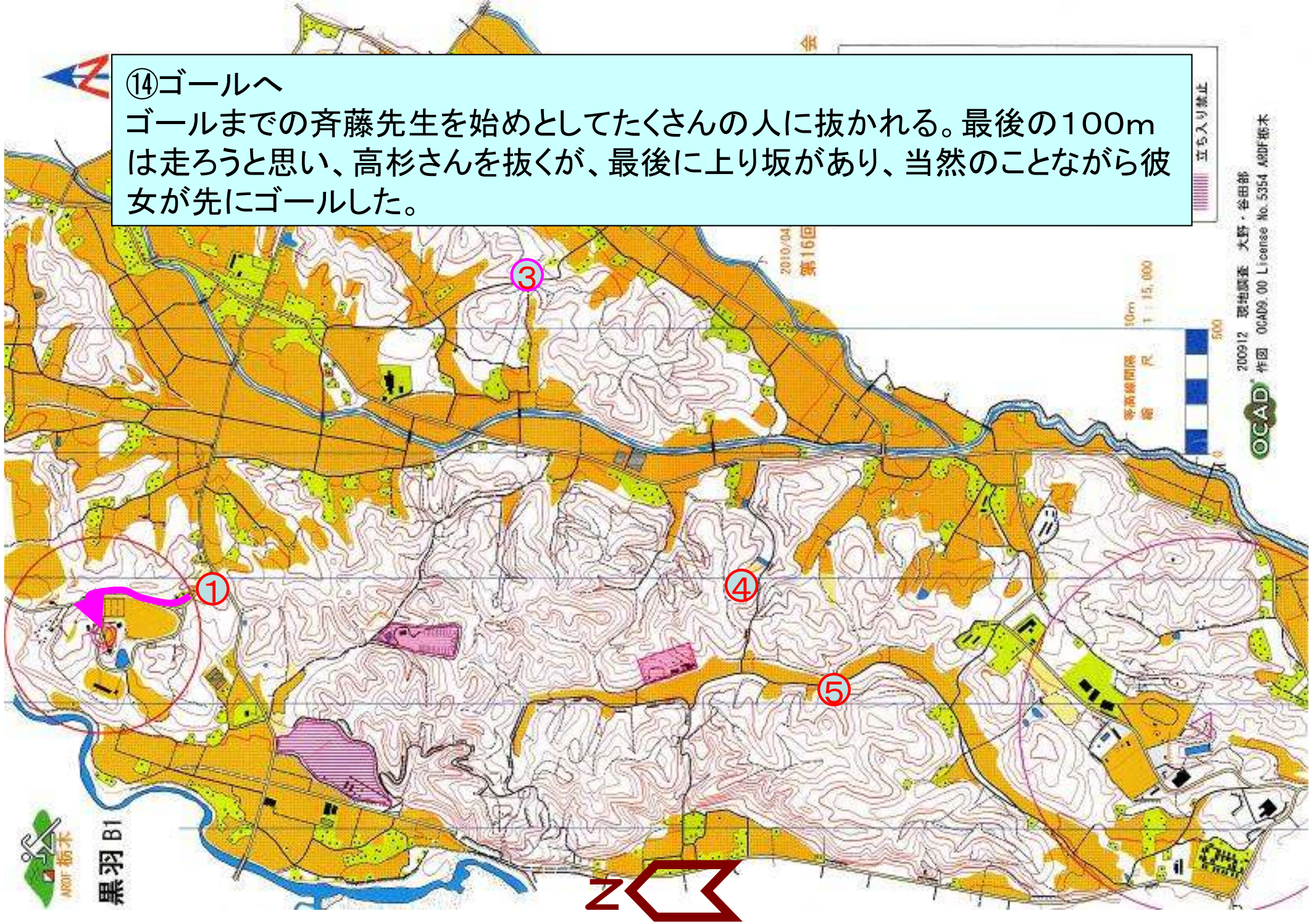
⑫東西の車道

ゴール入り口がある東西の車道に近づくにつれ強くなる。これはTXが見通せるようになってきた証拠だ。しかし、あまりにゴールが近いので、Bエリアを推定。見るとBエリアに入っていく競技者も見える。Bエリアを見渡せる場所でTX1が鳴く。Bエリアではない。となるとゴールの西側だ。とんでもない設定だ。



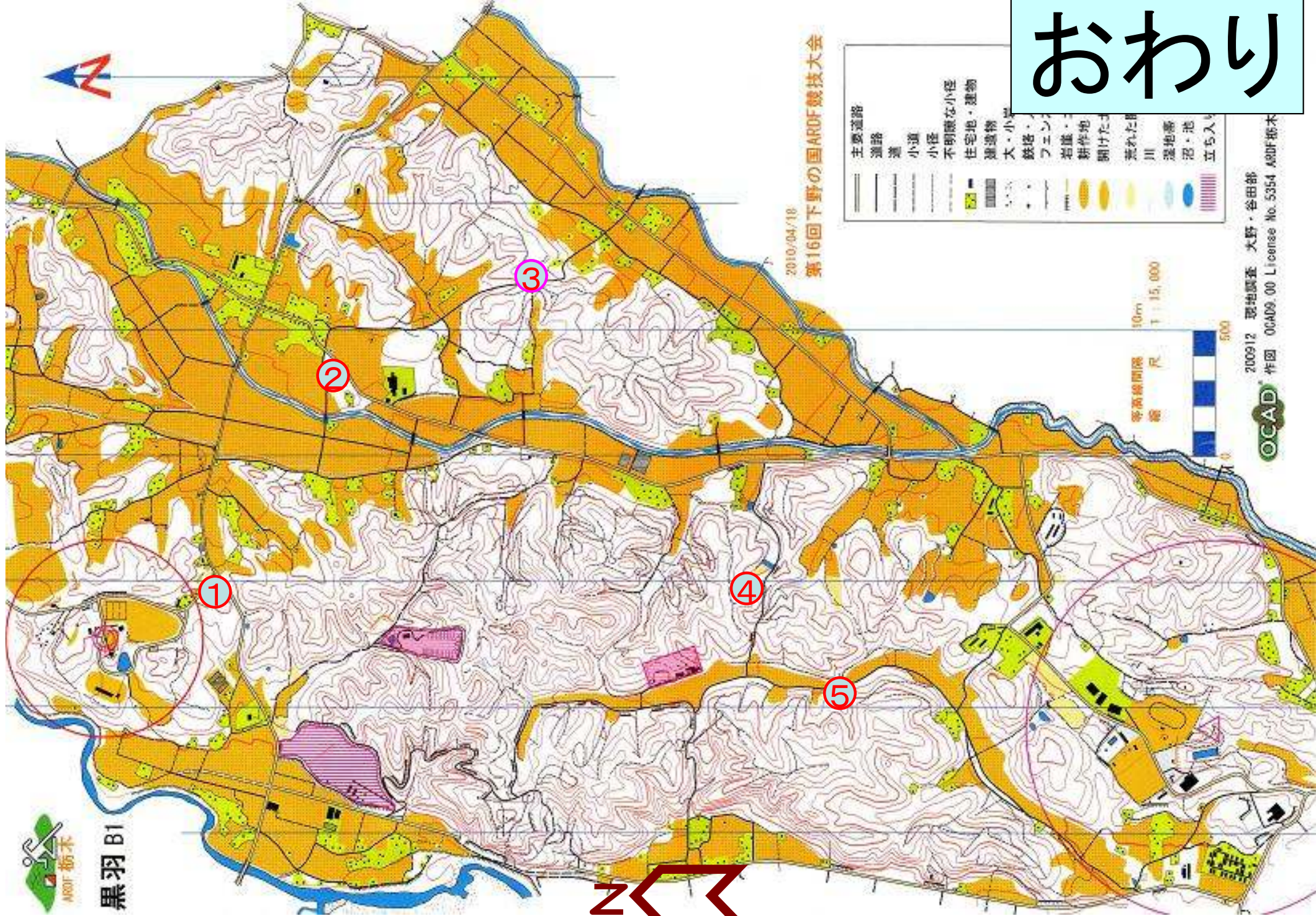
⑭ゴールへ

ゴールまでの齊藤先生を始めとしてたくさんの人に抜かれる。最後の100mは走ろうと思い、高杉さんを抜くが、最後に上り坂があり、当然のことながら彼女が先にゴールした。





黒羽 B1



2010/04/18

第16回下野の国ARDF競技大会

主要道路	——
道路	——
道	——
小径	——
不明瞭な小径	——
住宅地・建物	■
建造物	■
大・小川	——
鉄塔・電線	——
フェンス	——
岩盤・石	■
耕作地	■
開けた地	■
荒れた地	■
川	——
湿地帯	■
沼・池	■
立ち入り禁止	■

等高線間隔 10m
縮尺 1:15,000



200912 現地調査 大野・谷田部
OCAD 作図 OCAD9.00 License No. 5354 ARDF栃木

おわり



◇反省

シーズン最初は反省の宝庫。

1. まず距離感を思い出すに時間がかかった。

2. 後ろ方向のチェック忘れ。

2mの場合、TXに近いところで方位が出ないとき、後ろを必ずチェックしなければならないことを忘れていた。